

環境活動レポート 2023



作成：2023年8月3日

Time with pride.

ひたむきに、歩み続ける。



目次

1. 事業活動の概要	3
2. 対象期間・対象範囲	4
3. ISO14001 認証	4
4. 環境方針	4
5. 環境体制の組織図	5
6. 環境目標と実績	6
7. SDGs に関連する活動事例	7
8. 主な環境活動	8



1. 事業活動の概要

事業所名：株式会社ムーンスター

代表取締役：井田 祥一

創 業：明治6年（1873年）10月20日

資本金：1億円

売上高：298億円（2022年6月期）

従業員：888名（2022年6月期）

業 種：スニーカー、紳士靴、婦人靴、スポーツ用品の製造・販売

社 訓：走る者はつまずきやすく、つま立つ者は倒れやすい。

堅実なる一歩ずつを進めよ。進めたる足は堅く踏みしめよ。



創業当時の木製看板

経営理念：すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために

ホームページ：<http://www.moonstar.co.jp/>



2. 対象期間・適用範囲

対象期間：2022年7月1日～2023年6月30日（当社第96期）

適用範囲：福岡県久留米市白山町60番地

活動範囲：靴の設計・開発及び製造

3. ISO14001：2015 認証

登録認証番号：JQA-EM1141

登録事業者：株式会社ムーンスター 本社

福岡県久留米市白山町60番地

登録日：2000年12月1日

有効期限：2024年11月30日



4. 環境方針

株式会社ムーンスターは“すべての人々の「笑顔」と「しあわせ」のために”を経営理念として、全てのお客様が「笑顔」になれる靴、「しあわせ」を感じる靴をお届けできるよう全社一丸となって取り組んで参ります。

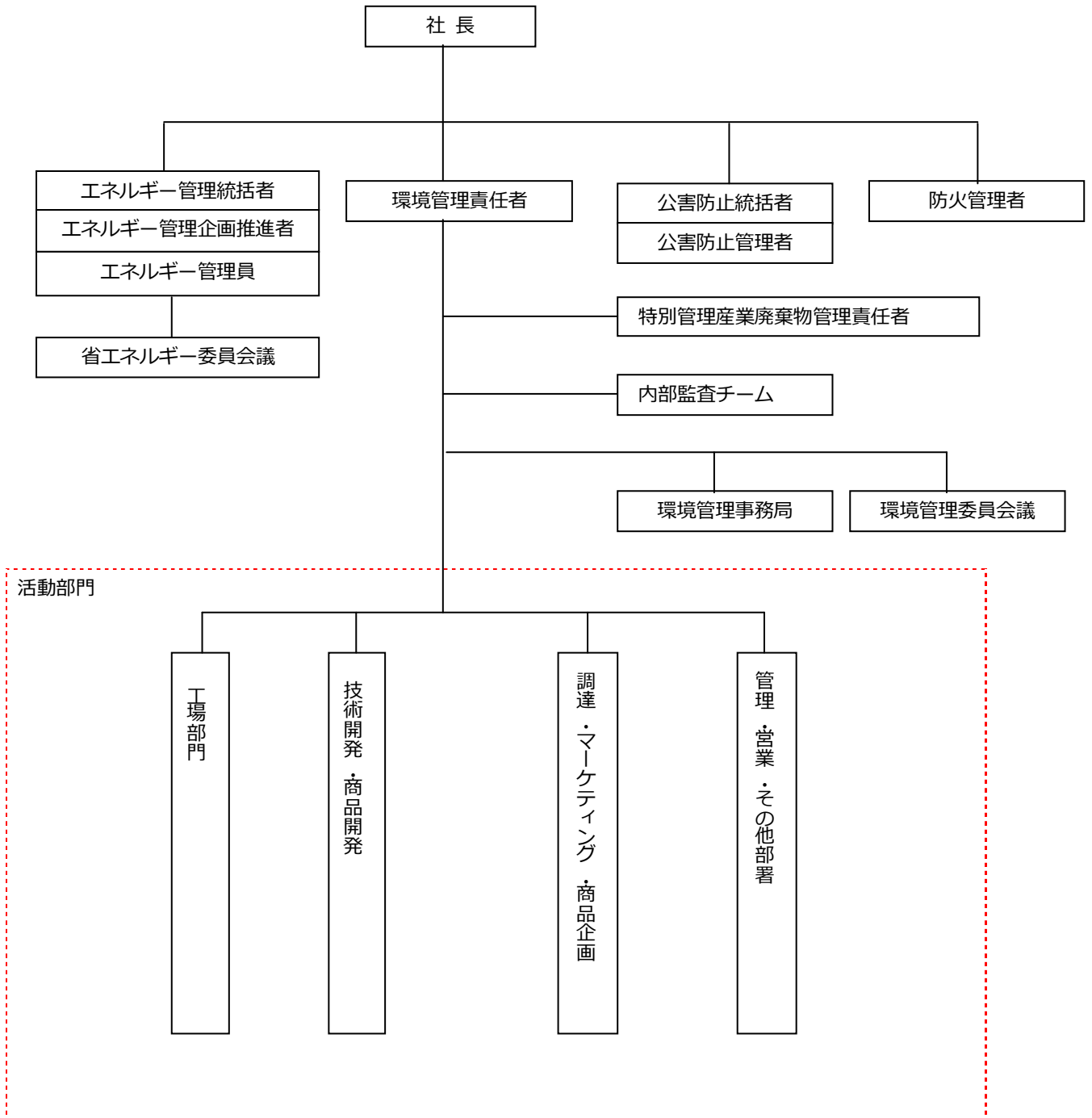
そして、環境に優しい事業活動を全員参加で取り組み、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に努めます。

1. 事業活動による環境影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行い、環境の汚染予防と継続的な改善に取り組みます。
2. 環境法令・協定及び同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 靴の開発から生産、消費、廃棄に至るすべての段階に考慮した環境負荷の低減を図っていきます。
4. 環境負荷低減型の商品作りを進めます。
5. 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めます。

この環境方針は、社内に周知徹底するとともに一般の方々にも公開します。

令和2年7月1日
株式会社ムーンスター
代表取締役社長 井田 祥一

5.環境体制の組織図



6.環境目標と実績

ISO14001 を取得している久留米本社では、7つのグループに分かれ環境目標を設定し活動を実施しました。
下記は環境に関係の深い取り組みの目標達成状況です。

【当社 第96期の取り組み目標と実績】

取り組み目標	実績	評価
産業廃棄物 95 期実績の 3%削減	24%削減	◎
ガス使用量を前期比 3%削減	2.4%の削減	△
環境負荷低減型の商品を 10 型以上開発	試作数：19 型・商品決定数：17 型	◎

※ 評価：◎＝目標を大幅に上回る成果があった

○＝目標を達成、順調に推移した

△＝積極的に取り組んでいるが目標達成出来ず

×＝活動が不十分で目標未達成

目標が達成出来なかった活動グループでは、①目標未達原因の洗い出し ②今期目標達成に向けて実行した内容
③来期目標達成に向けた具体的施策の確認会をおこないました。

第 97 期(2023 年 7 月～2024 年 6 月)の環境目標は、廃棄物の削減、エネルギー使用量の削減、環境負荷低減型の
商品開発等に取り組みます。

7. SDGs に関連する活動事例

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。

2030年を達成年限とし17の目標と169のターゲットから構成されています。

ムーンスターでは、新たな活動を始めるのではなくISOのシステムを活用してSDGsに取り組みます。

分野	活動事例	SDGsとの関連
人間	<p>当社のシューズは人の健康と福祉に貢献</p> <p>製造工程における糊の水溶性化等、化学物質使用の削減</p> <p>大気汚染の少ない天然ガスボイラーを使用</p>	
経済	<p>エネルギー使用量を削減し資源の有効利用に貢献する</p> <p>社用車を削減しエネルギー使用量とCO2排出量を削減する</p> <p>省エネ機器の導入、蛍光灯のLED化、昼休みの消灯</p> <p>作業効率のアップによる経済成長の発展</p> <p>改善提案制度、資格奨励金制度の実施、工場見学への対応等</p> <p>コンプライアンスを順守した天然ゴムの購入</p> <p>靴作りの手技やノウハウを継承・蓄積</p> <p>製品の長寿命化、リペアシューズ</p> <p>新機能シューズの開発、九州大学、岡山県立大学との共同研究</p> <p>社内美化運動、花いっぱい運動、</p> <p>廃棄物の発生抑制</p>	   
環境	<p>環境配慮素材を使用しエコな靴及び使われてこそ価値のある靴作り</p> <p>ライフサイクルを考慮した廃棄物の削減・ゼロエミッション推進活動</p> <p>社用車をハイブリッド車への切り替えによるCO2排出量の削減</p> <p>工場排水の水質検査による水質保全</p> <p>両面印刷及び裏紙の使用による資源の有効利用</p> <p>不良削減による環境保護</p> <p>産業廃棄物の直接埋め立て処理ゼロの実施</p>	   
協働	<p>くるめ地域活動への参加、協賛</p> <p>持続可能な開発の為、海外工場とグローバルパートナーシップの推進</p>	

8.主な環境活動

久留米本社ではISO14001・2015年版の環境マネジメントシステムを運用し省エネ、省資源および廃棄物の削減など持続可能な社会を作るため、地球環境保全に配慮した事業活動を進めています。

(1)環境配慮型の商品

地球環境について考え、 エコロジーな靴を作りました。

地球にも足にもやさしいシューズです。

地球環境に配慮して、500ml PETボトル1本分の素材を靴の一部に再利用し、限りある資源の有効活用に努めています。

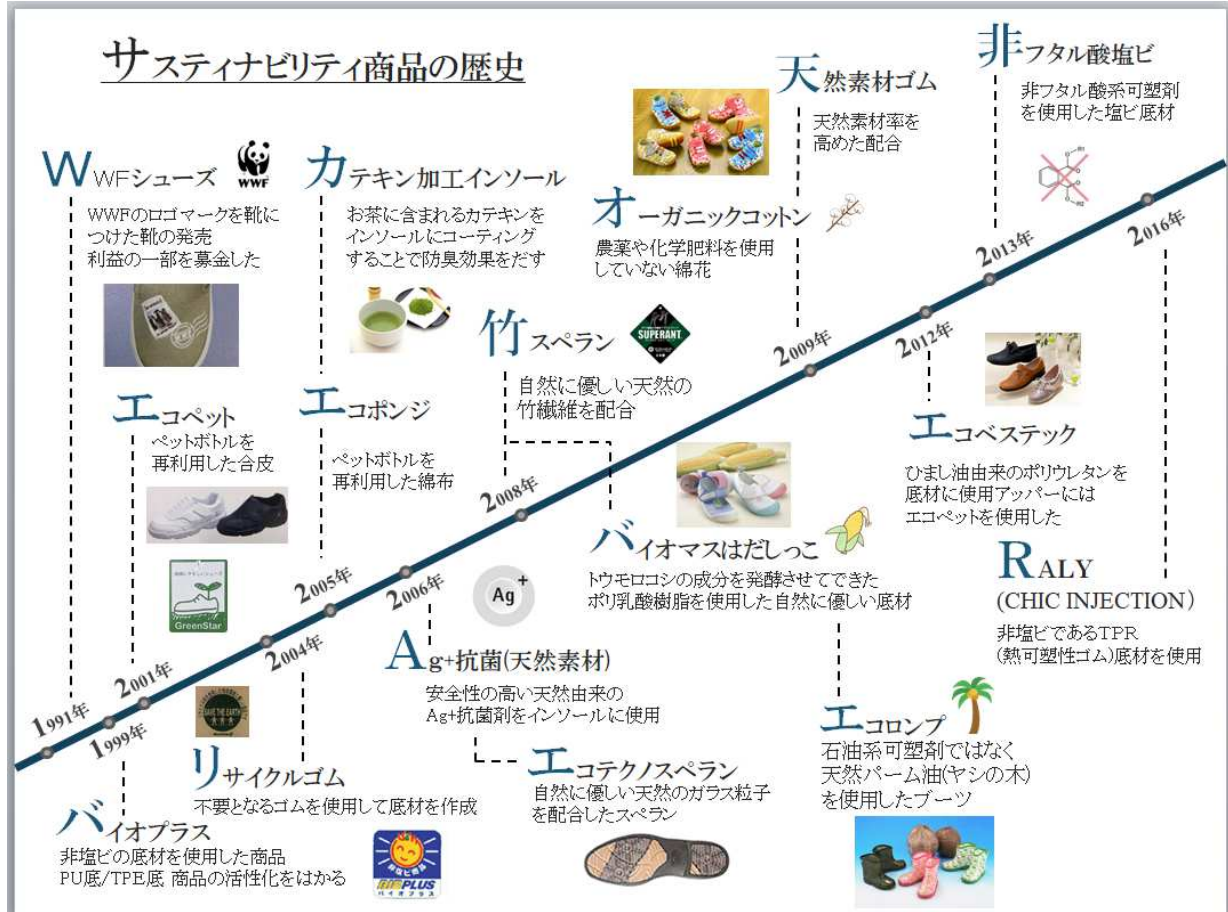
環境負荷低減型商品
(リサイクルPET素材使用)



(株)ムーンスターは、温室効果ガス削減のために、環境負荷低減商品を提案します。

生産に使用している有機溶剤糊を水性糊へ変更し、布とゴムを貼り合せする生産工程にて発生する VOC ガス(揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds))の削減を推進しています。

また、靴の包装材削減など製品設計段階からも廃棄物の削減、使用抑制、エコ化に取り組んでいます。



(2)環境コミュニケーション

① 環境共生都市づくり協定書

久留米本社は、久留米市と『環境共生都市づくり協定書』を締結しています。環境負荷低減計画や排水、騒音の測定を定期的におこない久留米市へ結果を報告しています。

令和4年12月1日に、久留米市による工場排水の水質検査がありました。

結果は下記の通り問題はありませんでした。

項目	基準値	第一工場の排水	第二工場の排水
水素イオン濃度(PH)	6.0~8.4	7.4	7.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	10mg/L以下	0.7	1.2
浮遊物質(SS)	15mg/L以下	<1	4
油分(アルカリ抽出物質)	2.5mg/L以下	0.6	0.5

② 環境管理委員会議

定期的に環境管理委員会を開催し環境目標の進捗状況、法的要求事項の順守報告、環境情報の確認をおこないました。

③ ISO 通信の発行

ISO活動に関する事、産業廃棄物に関する事、環境関連のニュース等を当社の社内LANに掲示して環境に関する情報を掲示しています。

この活動は、ISOを取得した2000年1月から続けています。



④ 啓蒙活動

SDGsに合致する取り組みを看板にして工場内に掲示しています。

環境に関する社員の意識向上と工場見学に来られたお客様への説明を兼ねて作成しました。

ムーンスターの工場に来られた時は、SDGsの看板を探してみてください。



【当社不要ゴムは他社で再利用されています】



【トレーサビリティが構築されている天然ゴム】

⑤ 工場見学への対応

コロナ感染防止対策を徹底し工場見学をおこないました。

○久留米市、地元企業、地元大学から 12 名来社…2023 年 3 月

久留米 GX 研究会(GX…グリーントランスフォーメーション・脱炭素社会に向けた取り組み)で、ムーンスターの SDGs への取り組みを発表したところ、当社の SDGs マップを見学したいという事で来社されました。

今後も産学間の連携にてイノベーションの創出やサステナブルな社会の実現に努めます。



○地元の高校生 4 名来社…2022 年 12 月

地元の高校より探究学習の一貫として SDGs に取り組む企業について調べていて直接話を聞きたいという事で来社されました。工場見学をしながら SDGs に関連するムーンスターの活動の説明をしました。

生徒さんからは、省エネや環境配慮商品に対する質問もあって、環境に対するレベルの高さを感じました。

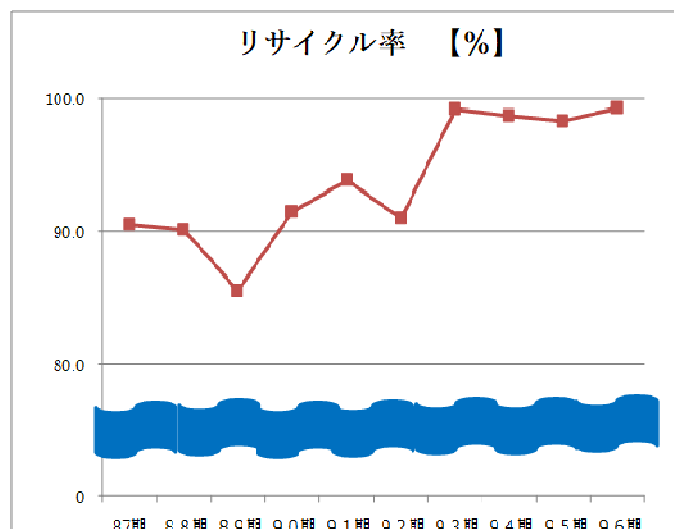
SDGs の視点を身に付け認識してもらうことは将来生徒達が社会で活躍するためにも大切な事だと思いました。



(3) リサイクルの推進

持続可能な循環型社会の構築のために、3R(リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle))を推進しています。今期(第96期)のリサイクル率は99.3%でした。今後も最終埋め立て処分量をゼロとする“廃棄物ゼロエミッション”に取り組んでいきます。

ムーンスターでは、リサイクル率99.5%以上をゼロエミッションと定義しています。



(4)美化運動

- ①久留米本社では工場周辺道路の清掃活動を行っています。
- ②花いっぱい運動として工場内の空いたスペースに花を植えています。



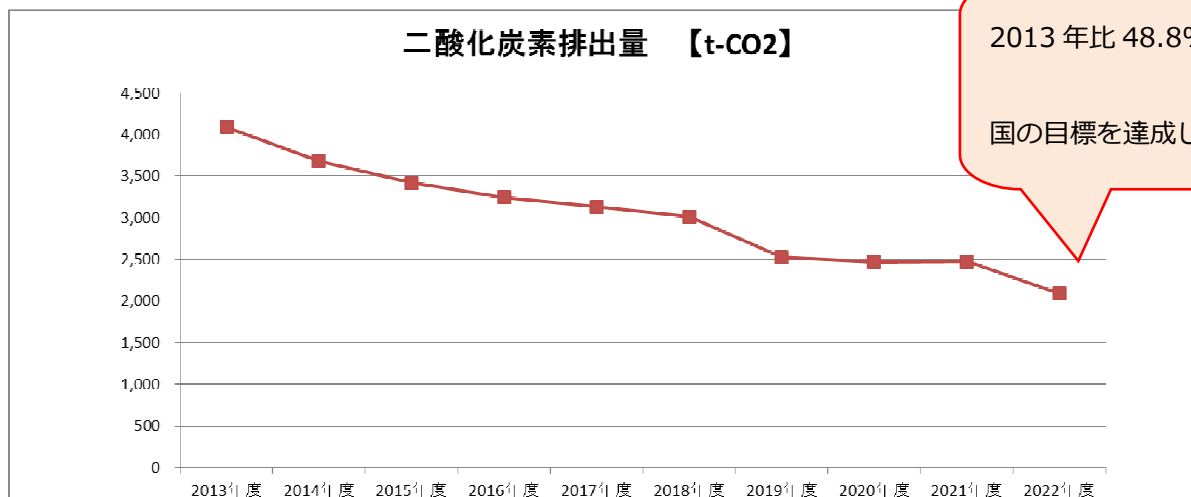
(5) 省エネ活動

未使用エリアの消灯活動、冷暖房の設定温度管理、省エネ機器への変更、生産の効率化によるエネルギー使用量の削減等をおこない、省エネ活動は全社員で取り組んでいます。



久留米工場の二酸化炭素排出量

日本の温室効果ガス削減目標は、2030年に2013年比で46%削減、2050年にカーボンニュートラルを2021年10月22日、地球温暖化対策計画で閣議決定されました。ムーンスターでは国の目標を達成するため、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。



■今までの二酸化炭素排出量削減の実施策(一例)

- ・変圧設備を更新（高効率へ）
- ・大型空調機を小型インバータタイプへ
- ・冷房設備室外機への散水装置取り付け
- ・照明のLED化
- ・クールビズ実施による室温管理徹底

(6) 地域社会への貢献

- ① 4月15～16日で開催された「くるめつつじマーチ」に36名参加しました。また運営スタッフとして52名参加し大会のサポートを致しました。
- ② 6/4(日)開催された、日本列島クリーン作戦（都心部道路美化キャンペーン）へ13名参加し、三本松公園からJR久留米駅までの往復約2キロの道路の清掃活動をおこないました。

(7) 緊急事態への対応

久留米本社では、年3回(3月、8月、11月)消防総合訓練を実施しています。

自衛消防隊による消火訓練や全社員参加の避難訓練、通報訓練、新入社員への消火器の使い方の教育等をおこないました。

工場部門では、タンクから有機溶剤が漏れたという想定での緊急事態訓練を年1回(10月)実施しています。



(2022年9月26日・タンクより有機溶剤が少量漏洩したという想定で緊急事態訓練のテストを実施)



株式会社ムーンスター

〒830-8622 福岡県久留米市白山町 60 番地

TEL : 0942-30-1111 FAX : 0942-30-1170